

◆在外研究助成

【2025 年度】

国際教養学部 准教授 ムズラックル ハリト

派遣先：カーティン大学（オーストラリア）

派遣期間：2025 年 3 月 10 日～ 2026 年 3 月 31 日

「研究内容」

研究課題：オーストラリアの先住民、アボリジニの物語の構造

カーティン大学は、オーストラリア・パースに所在し、国際的に高い評価を受ける総合大学である。オーストラリア先住民研究者・作家である Kim Scott 教授らの協力の下、先住民の語り手との接触および観察を主体としたフィールドワークを実施します。同大学における在外研究を通じ、研究目的に応じた許可が必要なオーストラリア先住民地域へのアクセスが実現され、貴重なデータの収集が可能となると期待しております。本研究では、先住民のストーリーテリング技法を、物語の構造、展開、パフォーマンスや言語的特徴に着目し、特に、西オーストラリア州南部のウィルロミン・コミュニティにおける伝統を対象とします。さらに、トルコのメッダーフルックや日本の落語との比較により、各文化の共通点と独自性を明らかにし、ストーリーテリングの普遍的要素や進化の過程を解明することを目指す。文献調査と現地調査を併用し、従来の研究を補完する新たな知見の獲得を図る。